

農学研究科

教育プログラムの名称：生物環境学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院農学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（生物環境学専攻・修士課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 問題解決のための調査や実験を計画できる。
2. 調査や実験で得たデータを解析できる。
3. データ解析にもとづく考察ができる。
4. 討論を通じて事象に対する理解度を深めるとともに、的確に自己を表現できる。
5. 他分野との共同作業ができる。
6. 身に付けた研究プロセス能力を今後携わる様々な問題解決のために適用し、即戦力として社会に貢献できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院農学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、生物環境学専攻（収支課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 多様なフィールドでの実践的な教育を通じて、学部教育で重視している教育方針をさらに深化させ、発展させることを目標としたカリキュラムを編成する。
2. 研究遂行上のテクニック、自己実現・表現のためのテクニック、高度な専門技術を身につけるための科目を配置する。
3. 学生自身の計画性が尊重されるような教育を展開する。
4. 他分野との共同作業や討論会を推進する。
5. 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定する。
6. 良識ある市民に求められる知識と技能、さらには主体的・自律的に学習に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

生物環境学専攻は、技術者や研究者を中心に、多くの有益な人材を輩出してきました。

本専攻は、各専門分野におけるより高度な知識を修めるとともに研究、調査、開発といった創造的な事業に従事する上での実践的な能力を養うため、指導教員による個別指導を軸としたきめ細やかなプログラムを展開しています。

また、生物環境学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・問題解決のために自発的な行動を実践してみたい人
- ・討論を通じて自己表現を実践してみたい人
- ・身につけた問題解決プロセスを社会に還元したいと考えている人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（筆記試験（専門科目）、口頭試問と志願者から提出された出身大学で作成された成績証明書等を総合して判定）
- （２）社会人入試（筆記試験（小論文）、口頭試問と志願者から提出された出身大学で作成された成績証明書、志望理由書、研究計画書、研究業績概要書を総合して判定）
- （３）外国人留学生入試（筆記試験（専門科目）、口頭試問と志願者から提出された書類を総合して判定）
- （４）外国人留学生推薦入試（志願者から提出された書類を総合して判定）
- （５）推薦入試（志願者から提出された出身大学の成績証明書、推薦書、志望理由書等の書類を参考に実施する口頭試問の結果により判定）